

(様式1) 平成25年度 山梨県立富士見支援学校旭分校学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	子どもたちの病状に配慮し、健康の回復を図りながら義務教育における学習空白を補完するとともに、社会の中で人と関わりながら生きていくための力を育む。
-----------	--

山梨県立富士見支援学校旭分校 校長 飯島 節生

本年度の重点目標	1 児童 生徒の実態に即した支援や授業実践を進める
	2 保護者や前籍校、他機関と連携して支援に努める

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価				年度末評価(1月24日現在)		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	児童生徒の実態に即した支援や授業実践を進める	柔軟な日課表の設定や評価方法の工夫を行う	児童生徒、保護者アンケート 学部会での検証 (満足度80%以上)	・児童生徒、保護者アンケートでは「満足出来る」「実態にあっている」との評価だった。平均満足度(90~97%) ・職員アンケートでは達成度85%	A	・個に応じた日課の変更や評価方法の工夫で一定の成果を挙げることが出来たが、教科の配置等、ベースとなる時間割の枠組みについては、教員配当等の関係で予定通りの実施は出来なかった。 ・校内研究では児童生徒の捉え方やそれをもとにした指導・支援方法について意見交換を行い、日々の指導に活かすことが出来た。今後も実践検証をくり返しながら、児童生徒への支援が必要。 ・昨年に比べ、より多くの教科指導でICTを利用した授業が実践されるようになってきている。また、単に使うから、効果的に活用し、授業改善を図る試みも行われてきている。機器の整備拡充を含め、授業改善の方法としてのICT活用を進めたい。 ・「旭分校の約束」に則り児童生徒が担任等に相談することを大切にして、実態に応じた生活指導を行ってきた。今後も話し合いを大切にしながらか職員の共通理解に基づいた生活指導を行いたい。
		具体的な支援に活かせる事例研究や指導法の工夫などについての校内研究を進める	児童生徒、保護者アンケート 職員アンケートや研究会、学部会での検証 (満足度80%以上)	・児童生徒、保護者アンケートでは「満足出来る」「工夫や努力をしている」との評価だった。平均満足度(90~95%) ・職員アンケートでは、達成度83%		
		ICTを活用した授業実践に取り組む	児童生徒アンケート 職員アンケートや研究会での検証 (満足度80%以上)	・児童生徒、保護者アンケートでは「ある程度行われている」との評価だった。平均満足度(78~85%) ・職員アンケートでは達成度75%		
		児童生徒の実態に即した生活指導を行う	児童生徒、保護者アンケート 職員アンケート (満足度80%以上)	・児童生徒、保護者アンケートでは「行われている」との評価だった。平均満足度(80~93%) ・職員アンケートでは達成度83%		
2	保護者や前籍校、他機関と連携して支援を進める	個別の教育支援計画の策定と、計画に基づく個別の指導計画の作成や評価についてのアカウントビリティの確立を目指す	保護者アンケート 職員アンケート、学部会での検証 (満足度80%)	・保護者アンケートでは「行われている」との評価だった。満足度93% ・職員アンケートでは達成度85%	A	・個別の指導計画を懇談等の機会を通して保護者に説明し、共有することが出来たが、ベースになる「個別の教育支援計画」の策定は、保護者の同意が得られない、関係機関からの報告が届かないなどの要因で、十分な成果を挙げられなかった。 ・卒業生を含め、転出児童生徒に対して過剰な働きかけは避けている。転出先の学校との連携を出来るだけ密にすることで、フォローアップを更に充実させたい。 ・自立活動や総合的な学習の時間などで進路への意識を持たせるとともに、前籍校連絡会、保護者との三者懇談等を通して情報の共有化を図っている。今後は職業体験活動にも力を入れ、高校卒業後の進路も視野に入れた進路指導を目指したい。
		中学部卒業生を含め、転出児童生徒のフォローアップを充実する	学部会での検証 (連携による満足度80%以上)	・保護者アンケートでは「行われている」との評価で、満足度93% ・職員アンケートでは達成度85%		
		情報を共有し、進路希望の明確化と実現を目指す	児童生徒、保護者アンケート 職員アンケート (満足度80%以上)	・児童生徒アンケート、保護者アンケートでは「指導が行われている」との評価だった。平均満足度(89~93%) ・職員アンケートでは達成度85%		

学校関係者評価	
実施日(平成26年2月14日)	
意見・要望等	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、児童生徒の多様化は更に進むと思われるので、それに対応した教育課程の運用工夫は必須になると思われる。 ・旭分校においては、情緒に不安定な生徒が多いと思うので、日課をこなすだけでも大変だと思います。その中で保護者からも高い評価を得ているので、良い状態にあると思います。 ・個によって実態も違うので、校内研究を更に深めて実践に結びつけるように生かして欲しいと思います。 ・ICTを取り入れた授業はもっと取り入れて、分かりやすい授業、興味が持てる授業にして欲しいと思います。生徒、保護者の満足度、達成度をもう少し上げられるよう工夫して取り組んで欲しいと思います。 ・生徒の実態に即した生活指導も難しいと思いますが、生徒一人一人に寄り添って、人間関係を大切にし、お互いの信頼関係を深めながら長く関わられるようにして欲しいと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱児童生徒の状態に応じて関わっていただくなかで、自信や子どもらしさを取り戻し親にも安心感を与えてくれている。 ・今後、福祉領域との連携が重要になると思われる。 ・卒業生のフォローも難しいと思いますが、在校生と卒業生を含め社会福祉村まつり等への参加を図っていかれると良いと思います。 ・キャリア教育の面からも自立を目指して就労を意識し職業体験は積極的に取り組んで欲しいです。ここセンの就労ワークの参加を取り入れていかれると良いと思います。

留意点 (1) 重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2) 学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。